

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県県民の森	対象年度	令和7年度
------	---------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認・評価	
1.	維持管理業務	1
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
	(8) 植栽管理	
2.	運営業務	6
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等 (又は入居率等)	
	2) 施設稼働率	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	10
II.	サービスの質の確認・評価	12
III.	財務状況の確認・評価	16
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
IV.	総合評価	20
1.	目標	
2.	評価結果	

附表 経営状況分析シート

附表 経営状況分析シート（利用者推移）

県民の森利用者アンケート様式

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県民の森	対象年度	令和7年度
指定管理者	沖縄文化スポーツインベーション株式会社 指定期間：令和5年4月～令和10年3月	所管課	農林水産部 森林管理課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①エリア管理手法 利用状況や実績をもとに、キャンプエリアや広場エリア等、季節に合わせた管理を徹底します。	○		<日常清掃> 実施日：313日 実施体制：6人 内容：公園施設清掃作業			
②トイレ清掃 ・常に清潔を保ちます ・トイレトペーパーのストックを十分に配置いたします。 ・巡回点検は利用者人数に応じて回数設定を行います。	○		<定期清掃> 実施日 52日 実施体制 2名 内容：塵芥処理 ①除草・清掃作業について記載あり。 ②トイレ清掃について月次報告でチェックシートが提出されるが、ストック補給については記載なし	報告書、現場写真及び現地視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施している。森のふしぎ館のトイレ便座が壊れているとのアンケート回答があったが、指定管理者によって、修繕されていた。木のふれあい館のトイレの手洗いの水圧が弱いとの意見もいただいている。 【課題】 木のふれあい館のトイレの手洗いについては、利用者の多い、少ないに関わらず、水圧が弱い。要修繕。
③施設内外清掃 利用者の妨げにならないように、清掃日程と工程の報告を事前に行い実施します。	○		③については月次報告で示されている。			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①貯水槽清掃清掃業務 時期：年1回、7月頃 業者：読谷共同産業株式会社		○	専門業者に委託し、令和7年8月18日に実施した。	報告書、現場写真及び現地視察時に随時確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 高架水槽及び受水槽点検において、錆による沈殿物がある（毎年度、同報告あり） 【課題】 現時点で水の利用に影響はない。
②簡易専用水道検査 時期：年1回9月頃 業者：沖縄県環境科学センター		○	専門業者に委託し、令和7年8月19日実施した。			【現状分析】 吐出口空間は流入管径の2倍以上が望まれると業者からのコメントあり。 【課題】 現状で不具合は生じていない。
③浄化槽維持管理業務 毎月1回 業者：T-seed恩納環境衛生管理		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。			【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし。
④消防用設備点検 時期：年2回、8月・3月 業者：読谷共同産業株式会社		○	専門業者に委託し、令和8年2月25日に法定点検を実施。 消化器具、非常警報器具及び設備、配線に不備があったが、令和7年5月27日に改修した。			【現状分析】 消防用設備点検時に不良箇所があったが、改修済み。 【課題】 特になし。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①電気保安管理業務 (業者名：沖縄電気保安協会) 月次：2か月毎1回 年次：年1回		○	専門業者に委託し、法定点検を行った。	①、②、③ 報告書、現場写真及び現地視察時に随時確認。 ④一般廃棄物処理 恩納清掃に委託している。令和7年度は毎週火曜日に一般廃棄物を回収し、恩納村の最終処分場に廃棄していることをR8.6.10の現地ヒアリングにて確認済み。	事業計画のとおりに実施された。	【現状分析】 適正に実施されている。 【課題】 特になし。
②施設における機械警備 期間：通年 業者：株式会社琉球保安警備隊		○	専門業者に委託し、機械警備を通年実施した。			
③夜間（常駐）警備 人数：1名 期間：18:00～翌9:00 業者：合資会社全沖縄警備保障		○	専門業者に委託し、適切な防犯対策を行った。 実施日：261日 警備員：1名			
④一般廃棄物処理 時期：週1回程度		○	記載なし			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
修繕費 500,000円		○	基本協定第 条に基づき、施設・設備等の小規模修繕（目安：1件修繕30万円未満）については適切に行った。 実績： 532,105円	報告書、現場写真及び現地視察時に随時確認。	修繕が必要な箇所について、チェックシートにて報告があった。	【現状分析】 適切に実施されているが、修繕箇所が多く、実施されていない箇所がある。 【課題】 修繕箇所の見積りを取り、県が修繕すべき箇所（30万円以上）があれば適宜報告する。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品購入の計画なし。	○		記載なし	R6年度利用者アンケートにて、木のふれあい館へAED設置して欲しいと要望があったが、現時点で設置なし。 ヒアリングにて指定管理者より「設置を検討する。」と回答があった。	—	【現状分析】 ・AEDの設置について総合案内管理棟に1台設置されているが、木のふれあい館には設置されていない。必要時は総合案内管理棟まで取りに行く必要がある。 【課題】 木のふれあい館へのAED設置を検討する。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<防犯> ・職員会議等で取り上げ、職員の共通理解を図ります。 ・安全確保に関する責任者を指定し、職員の役割分担を明確にして安全確保に努めます。	○		記載なし	安全確保に係る統括責任者を県民の森所長に想定している。その他職員の役割分担については明確にしていない。ヒアリングにて確認。	事業計画のとおり実施されていない。	【現状分析】 県民の森所長以外の職員の役割が明確になっていない。 【課題】 その他職員の役割分担を明確にする。
<防災> ・自衛消防隊の形成と緊急連絡体制図を基に関連機関と機動的な対応を取ります。 ・障がい者等を交えた自主的な防災訓練を年に2回開催します。 ・全職員が「普通救命講習」を受講します。	○		自主的な防災訓練を以下の日程で実施した。 9月17日 総合訓練 2月12日 部分訓練	障がい者等を交えた防災訓練は行っていない。ヒアリングにて確認。	ある程度、事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 防災訓練は事業計画の回数どおり実施された。 【課題】 障がい者等を交えた訓練の実施、普通救命講習の実施

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
レジシステムを導入し、現金精算のみならずクレジットカード、EDYなどの電子マネーでの精算を推進します。	○		記載なし	総合案内管理棟において、クレジットカード及び電子マネーでの支払いが可能。ヒアリングにより確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 概ね事業計画のとおり実施された。 【課題】 特になし。
日々の売上は受付業務完了後に売上金と釣銭金の確認を行い経理本部への報告、売上金は定期的に指定銀行口座へ入金します。	○		記載なし	経理部は本部(沖縄市)にて配置。 指定口座に指定管理料、一部売上を入金し、本体別管理口座に資金移動する。 本体別管理口座より業者支払い、給与支払い等を実施。ヒアリングにより確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状】 料金は指定口座に徴収できている。 【課題】 特になし。

(8)樹木管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
倒木等の発生予防 ・折損、傾き、腐朽等の情報を収集し、収集した情報をもとに維持管理を行います ・樹木の診断の結果、処置が必要な樹木について、優先度を設置する。	○		記載なし	樹木医への相談を実施していることをR8.6.10の現地ヒアリングにて確認済み	実施計画のとおり実施されていない。	【現状分析】 特になし。 【課題】 特になし。
1. 維持管理業務 取組改善案		利用者の増加により、利用頻度が増えた施設の清掃、維持管理に係る費用が増加している。また、利用エリアも増えていることから、今まで以上に清掃・管理が求められている。松くい虫による枯損被害が増加しており、施設の一部を利用制限する等の影響がでる事例が増加している。危険木については、速やかに除去できるよう県と調整を行う。				

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和6年度実績	事業計画 (目標値)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	113,404	143,695	118,640	105%		【現状分析】 個人参加者は令和6年度と比べやや増加した。イベント参加者は昨年度に比べて大幅に伸びた。 【課題】 団体利用者を増やすことが課題である。
	団体利用者数	9,241		9,171	99%		
	イベント参加人数	522		1,699	325%		
	計	123,167	143,695	129,510	105%	90%	
評価（①利用状況）					B		

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

2) 施設稼働率（有料施設のみ）

		令和6年度実績	事業計画 (利用可能日)	令和7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
①平日 稼働率	シャワー室	161日	196日	159日	99%	81%	【現状分析】 屋外施設の利用が 増加傾向にある。 特にパークゴルフ 場が大幅に伸びて いる。 【課題】 研修室（木のふれ あい館）、木工室 （森のふしぎ館） の利用が低調であ る。
	キャンプ場	161日	196日	159日	99%	81%	
	パークゴルフ場	42日	196日	72日	171%	37%	
	スポーツ広場 （グラウンドゴルフ場）	146日	196日	123日	84%	63%	
	中央広場	190日	196日	193日	102%	98%	
	研修室 （木のふれあい館内）	25日	196日	17日	68%	9%	
	木工室 （森のふしぎ館）	0日	196日	4日	—	2%	
②土日祝 日稼働率	シャワー室	101日	120日	108日	107%	90%	
	キャンプ場	101日		108日	107%	90%	
	パークゴルフ場	63日		74日	117%	62%	
	スポーツ広場 （グラウンドゴルフ場）	101日		115日	114%	96%	
	中央広場	117日		120日	103%	100%	
	研修室 （木のふれあい館内）	10日		4日	40%	3%	
	木工室 （森のふしぎ館）	16日		57日	356%	48%	
①②合計	シャワー室	262日	316日	267日	102%	84%	
	キャンプ場	262日		267日	102%	84%	
	パークゴルフ場	105日		146日	139%	46%	
	スポーツ広場 （グラウンドゴルフ場）	247日		238日	96%	75%	
	中央広場	307日		313日	102%	99%	
	研修室 （木のふれあい館内）	35日		21日	60%	7%	
	木工室 （森のふしぎ館）	16日		61日	381%	19%	
計					127%	61%	

評価（①利用状況）

C

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉 県民の森の休園日は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第9条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	条例のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし
〈開園時間〉 県民の森の開園時間は、沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第10条の規定によることとする。	沖縄県県民の森の設置及び管理に関する条例第10条の規定のとおり実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。特に問題なし	条例のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおり実施した。 【課題】 特になし

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①受付の多様化 ホームページ内にキャンプサイトのリンクを貼り付けし、利用状況案内を行う。	○		記載なし	ホームページ内にキャンプサイト「なっぶ」のリンクが張り付けられている。	事業計画どおり実施された。	【現状分析】 事業計画どおりに実施した。 【課題】 特になし。
②利用の許可に関する業務 ホームページにて広場予約を可能とする。	○		記載なし	ホームページにて広場の利用申請をすることは可能だが、予約をすることはできない。	事業計画のとおり実施されていない。	【現状分析】 事業計画のとおり実施されていない。 【課題】 ホームページでの予約を可能にする。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
○ホームページ、SNS、各種媒体を活用して広報、宣伝を行う。 広告費 118,580円	○		イベントのチラシやポスターを作成し、施設内、ホームページ、Instagramで周知を図った。	ホームページ及びInstagramにて確認。	概ね事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 ホームページ及びInstagramで県民の森及びイベント周知が行われた。 (参考)Instagramフォロワー数 R6年度末 1,686名 R7年度末 3,296名 【課題】 特になし。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する法律及び条例に基づき、必要な措置を行う。	○		記載なし	個人情報（名前、電話番号、住所等の記載がある書類は、事務所内の鍵付きの書棚にいれて管理している。 また、パソコン内で保管しているものについては、パスワードを設定し管理している。ヒアリングで確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 事業計画のとおり実施した。 【課題】 特になし。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
自動販売機の設置 収入 400,000円	○		R6 203,240円 R7 373,967円	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画のとおり実施された。	【現状分析】 R6年度に比べて自動販売機の収入が増加している。 【課題】 特になし
イベント・教室 備品貸出 収入 1,286,000円	○		R6 1,473,800円 R7 2,168,844円	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。	事業計画の追加・変更が多い。	【現状分析】 イベント（自主事業）については、事業計画の追加・変更が多い。 【課題】 内容を十分に検討した上で、事業計画を作成する必要がある。

イベント内容・参加人数

	内容	令和6年度実績 (参加人数)	令和7年度 事業計画	令和7年度 変更計画	令和7年度実績 (参加人数)	整合性の検証	現状分析 ・課題
1	森のクラフト体験		4月		51人	実施 (4月6日,13日,27日)	【現状分析】 昨年度実績に比べて参加人数が増加している。事業計画からの変更・追加が昨年度に比べて減少している。イベントに対する参加者も昨年度に比べて増加しており、事前告知等の効果が認められる。 【課題】 イベントへの参加者は前年度に比べて増加しているものの、利用者アンケートでイベントがあれば周知してほしいといった声があり、PRを十分に行う必要がある(HP、インスタの周知)
2			5月		177人	実施 (5月3-6日,11日,18日,25日)	
3			6月		29人	実施 (6月8日,15日,22日,29日)	
4			7月		37人	実施 (7月6日,13日,20日,27日)	
5		8人	8月		70人	実施 (8月3日,10日,17日,24日,31日)	
6			9月		45人	実施 (9月7日,14日,21日,28日)	
7			10月		93人	実施 (10月5日,11日,12日,13日,19日,26日)	
8		36人	11月		68人	実施 (11月2日,9日,16日,22日,23日,24日,27日,30日)	
9		25人	12月		22人	実施 (12月7日,14日,21日,28日)	
10		14人	1月		29人	実施 (1月4日,11日,18日,25日)	
11		48人	2月		24人	実施 (2月1日,8日,15日,22日)	
12		27人	3月		24人	実施 (3月1日,8日,15日,22日,29日)	
13	みんなで！ 森のクラフト体験	22人	随時		25人	実施 (9月20日)	
14		20人			20人	実施 (11月27日)	
15		16人			41人	実施 (3月21日)	
16	軽トラ市		毎月		517人	実施 (4月6日)	

17	自然観察会		隔月		11人	実施 (4月26日)
18					7人	実施 (11月8日)
19	植物工作体験 (アダン根の筆づくり)		8月		4人	実施 (8月23日)
20	ドッグラン		6月		60人	実施 (6月28日)
21	星空ピクニック	45人	追加		27人	実施 (5月3日)
22			8月		91人	実施 (8月12-13日)
23			12月		57人	実施 (12月14日)
24			追加		47人	実施 (1月11日)
25	初心者向け トレイルランニング	13人	9月		32人	実施 (1月17-18日)
26	キャンプ飯講座 (ピザ焼き体験会)		1月		33人	実施 (2月14日)
27	キャンプ講座 (防災キャンプ)	32人	2月		18人	実施 (9月27日)
28	シダ植物観察会	15人	追加		10人	実施 (3月14日)
29	初夏のチョウ類 自然観察会	13人	追加		10人	実施 (5月24日)
30	秋のチョウ類 自然観察会	2人	追加		5人	実施 (10月18日)
31	食べられる 野草自然観察会	11人	追加		15人	実施 (1月24日)
32	絆駅伝		12月			実施無し
	県民の森で過ごす 山の日	142人	8月			R6年度実施
	植物観察会	17人				R6年度実施
	親子でどんぐり工作	16人				R6年度実施
計		522人			1699人	
2. 運営業務						
3. 自主事業						
取組改善案						
今後も自主事業（イベント）について年間計画を立てる際は精査し、事前告知を行う。 マルシェ等の多数の利用者が訪れるイベント開催等を検討する必要がある。 キャンプ場以外の予約についてもホームページ上でできるようにすれば、利用者の利便性向上につながる。						

II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		紙		回答者数		713		アンケート内容		別紙参照	
評価項目		第三者（利用者等）評価						指定管理者		現状分析・課題	
		令和6年度 評価		令和7年度 目標	令和7年度評価						
維持管理業務	施設・設備管理	〈満足度〉	98%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉	98%	S	(要望への対応) ①高圧洗浄機で清掃対応しました。 ②大雨の際に土のうが移動する場合があります、点検しながら対応しています。また、水道管は安富祖自治会の管理にあります。管から水が出ているのは空気抜きの為出ています。 ③床掃除は適宜実施していますが、気づかず。ふき取り対応した。	(自己評価) ①以前から滑って転んだとお声聞いており、高圧洗浄機を購入して頂き約1.6㎡数日掛けて清掃できたことは良かった。 ②常時ぬかるんでいる箇所と沢の箇所には土のうを設置し歩きやすいように対策をします。 ③適宜掃除をする際には、拭き取りをしていく。	【現状分析】 要望に対して対応を行った。 【課題】 解決された。	
		・満足	85%		・満足	80%					
		・やや満足	13%		・やや満足	18%					
		・やや不満	1%		・やや不満	2%					
		・不満	0%		・不満	0%					
					〈改善要望〉 ①せっかく自然があるきれいな場所なのに、歩道に藻があるので滑って転びました。きれいにしてくれたらとても助かる。 ②溪流コースの道に土のうがあって歩きづらい。また、途中、水道管らしきものから水が出ていた。 ③クラフトコーナーの棚のほこりが気になった。						
運営業務	接客対応	〈満足度〉	99%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉	99%	S	(要望への対応) —	(自己評価) —	【現状分析】 予算の範囲内で運営を行っており、職員がシフトを組んで出勤している。 【課題】 職員の人数が12名（常勤9名、非常勤3名）で施設の規模を考えると少ない。また、森のふしぎ館及び用具貸出棟においては職員を配置できていない。	
		・満足	87%		・満足	83%					
		・やや満足	12%		・やや満足	16%					
		・やや不満	1%		・やや不満	2%					
		・不満	0%		・不満	0%					
					〈改善要望〉 ・全体的に活気がなくなっているという印象。外で働いている職員もみかけない。						

	施設・設備	満足度〉 99% ・満足 85% ・やや満足 14% ・やや不満 1% ・不満 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 99% ・満足 82% ・やや満足 17% ・やや不満 1% ・不満 0%	S	(要望への対応) ①HPにて施設の紹介を行っている。施設写真を更新する等対応した。また、インスタグラムやFacebookでも適宜、施設の紹介を行っている。 ②登山コースの分かれ目で看板が無い所があり、ラミネートで設置対応した。 ③案内棟前、駐車場の照明はシャワーやトイレを利用するため必要。炊事棟においても消灯することは難しい。 ④カフェにて飲食物の販売を検討	(自己評価) ①SNSにて、雨の日や暑い日など、その日の状況にあった施設紹介を心掛けている。 ②来園者からのご意見を参考にできるだけ分かりやすい看板が設置できるよう心がけている。 ③必要なところと必要でない所を検討していきたい。 ④カフェスペースについては、持続運営可能な方法を検討していきたい。	【現状分析】 利用者が必要としている情報を適宜SNSで紹介していた。 登山コースについては利用者からの要望に対応している。 施設内の照明については令和6年度にも同様の要望があった。 【課題】 照明及びカフェスペースの利用については、指定管理者と県で調整が必要。
		〈満足度〉 99% ・満足 87% ・やや満足 12% ・やや不満 1% ・不満 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 98% ・満足 79% ・やや満足 19% ・やや不満 2% ・不満 0%	S	(要望への対応) ①現在は、焚き火は午後5時から10時、午前6時から10時までとなっている。 ②遊具へのアクセス路の確保もあり、駐車スペースが狭いため一般利用者は林間駐車場の利用をお願いしている。	(自己評価) ①安全管理の面からも夜間のみに限っていたが、利用状況をみながら焚火実施要項を見直していきたい。 ②ふれあい館の駐車場が大変混み合い接触事故なども見られたので、身障者のみの駐車スペースとした。	【現状分析】 ①日中の焚き火については、キャンプ場利用者以外にも施設を利用する子どもが多いため、県の方針で避けている。 ②ふれあい館横の駐車場についても、①と同じく県の方針で身障者用の駐車場として整備する予定である。 【課題】 利用者に納得してもらえるよう説明を行う。
運営業務	利用条件							

自主事業	〈満足度〉 100% アンケート回収率 34名/200名、17% 満足 98% やや満足 2% やや不満 0% 不満 0%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 100% アンケート回収率 154名/1699名、9% 満足 90% やや満足 10% やや不満 0% 不満 0%	S	(要望への対応) ①次回は、使用する水道の数を増やすなどお客様を待たせない工夫をしたい。 ②現在は自然観察会にて溪流コースを利用することはある。 ③早めに告知できるよう心掛けている。	(自己評価) ①レンタルした靴を洗うところまで体験してもらった。靴裏についた種子などを持帰らないということを伝えるためだったが、意図が伝わらなかったのかもしれない。 ②登山コースも入れられるか検討する。 ③掲示、HPはできるだけ早めに、SNSは時期をみて広報を行っている。	【現状分析】 要望に対して対応を試みている。 【課題】 自主事業の参加者に意図を理解してもらうこと。
	〈満足度〉 98.4% 満足 85.2% やや満足 13.0% やや不満 1.2% 不満 0.4%	〈満足度〉 80%以上 評価：A	〈満足度〉 99% 満足 83% やや満足 16% やや不満 1% 不満 0%	評価 (②満足度) S	—	—	【現状分析】 利用者の満足度が高い。 【課題】 職員の人数が少なく、配置を工夫しているが、利用者アンケートに「活気がない。」という意見があった。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

質 II 取 の . 組 確 サ 改 認 善 ・ ビ 案 評 ス 価 の	利用者の満足度は高いが「しっかり情報発信を欲しい、定期的に開催されるイベントを増やして欲しい。」等、利用者から要望があった。周知を行い、定期的にイベントを開催する。
--	--

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		R 6 年実績 (円)	当初事業計画 (円)	変更事業計画 (円)	R 7 年実績 (円)	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
利用料金 収入	シャワー室	248,900	4,327,000		316,800	127%	—	
	キャンプ場	2,079,950			3,214,900	155%	—	
	パークゴルフ場	335,685			414,920	124%	—	
	グランドゴルフ	—			1,200	—	—	
	広場	153,450			30,900	20%	—	
	研修室（木のふれあい館内）	49,475			13,600	27%	—	
	木工室	62,640			307,800	—	—	
	備品貸出（県所有備品）	496,760	373,000		630,610	127%	169%	
計		3,426,860	4,700,000		4,930,730	144%	105%	
自主事業 収入	電気使用料（NTTドコモ）	272,588	247,000		240,841	88%	98%	
	サクラ管理	166,221	記載なし		124,688	75%	—	
	自動販売機	203,240	400,000		373,976	184%	93%	
	教室・イベント、備品貸出	1,473,800	727,000		2,620,245	178%	360%	
	計	2,115,849	1,374,000		3,359,750	159%	245%	
指定管理料		27,404,000	27,404,000		29,086,000	106%	106%	
合計（A）		32,946,709	33,478,000		37,376,480	113%	112%	
〈現状分析・課題〉								
＜現状分析＞								
・利用料金収入について、広場・研修室の収入が増加し、キャンプ場・シャワー室の収入については減少した。								
＜課題＞								
・収益性の高いキャンプ場の利用については、利用率を上げる必要がある。								
・木のふれあい館２階のカフェスペースは自主事業として事業を行うことが可能だが、活用されていない。								

(2) 支出

支出項目		R 6 年実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R 7 年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
人件費	職員給与（職員の基本給）	5,622,384	17,160,000		5,758,224	102.4%	－	
	賃金給与（賃金職員の給与）	9,822,180			10,934,607	111.3%	－	
	福利厚生費	17,386			77,369	445.0%	－	
	法定福利費（社会保険料等）	2,130,492			2,318,900	108.8%	114.8%	
	手当等（通勤手当）	0			1,200,000	0	－	0.0%
	計	17,592,442	20,380,000		19,089,100	108.5%	93.7%	
需用費	研修室（木のふれあい館内）	0	0		0	－	－	
	消耗品費	871,933	350,000		722,294	82.8%	206.4%	
	燃料費	726,721	400,000		776,172	106.8%	194.0%	
	印刷製本費	0	50,000		0	－	0.0%	
	光熱水費	4,572,010	2,977,000		4,039,482	88.4%	135.7%	
	修繕費	553,525	500,000		532,105	96.1%	106.4%	
	計	6,724,189	4,277,000		6,070,053	90.3%	141.9%	
役務費	通信運搬費	175,953	50,000		196,673	111.8%	393.3%	
	広告料	118,580	150,000		118,580	100.0%	79.1%	
	手数料	309,671	50,000		378,947	122.4%	757.9%	
	保険料	52,300	250,000		50,740	97.0%	20.3%	
	計	656,504	500,000		744,940	113.5%	149.0%	
旅費		0	0		0	－	－	
委託料		7,176,326	7,094,000		7,891,966	110.0%	111.2%	
使用料及び賃借料		1,640,035	600,000		1,148,856	70.1%	191.5%	
備品購入費		0	0		0	－	－	
負担金（各種研修等）		46,100	0		24,000	52.1%	－	
公課費（税金）		1,607,247	1,600,000		1,935,164	120.4%	120.9%	
諸経費(負担金)		0	0		0	－	－	
自主事業費（イベント）		230,843	0		567,412	245.8%	－	
合計（B）		35,673,686	34,451,000		37,471,491	105.0%	108.8%	
【現状分析】 物価高騰により、計画より支出が増加している。特に、手数料、委託料の増加に係る負担が大きい。自主事業に係る経費が増加しているが、収入も増加しており収益性を増している（R6年度：利益率5.4%、R7年度：利益率50.3%）。								
【課題】 収入よりも支出が大きくなっているので、支出を削減するとともに、収益性の高い自主事業を継続して実施する必要がある。								

2. 経営分析指標

評価指標	R 6 年実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	R 7 年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
事業収支 (C) (収入(A)－支出(B))	¥-2,726,977	-973,000		¥-95,011	－	－	
収益率 (事業収支(C)／収入合計(B))	-7.6%	-2.8%		-0.3%	－	－	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	10.4%	14.0%		13.2%	127%	89%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	15.8%	49.8%		15.4%	98%	89%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	20.1%	20.6%		21.1%	105%	112%	委託費（設備管理費、保安警備費の合計）
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	¥386	¥327		¥405	105%	117%	利用者数 129,510人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	¥296	¥260		¥315	106%	114%	
【現状分析】 令和４年度から連続して赤字となったものの、物価高騰に対応して管理費を増額したため、赤字幅は減少した。							
【課題】 収支差を縮減するため、収入を増やす必要がある。物価高騰への対応については今後も県と調整していく。							

評価（③財務状況）

B

【評価基準（③財務状況）】
収益率（事業収支／収入合計）
A：0%以上
B：-5%以上、0%未満
C：-5%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	事業収支が引き続き赤字となった。収益性の高いキャンプ場について、利用を推進する必要がある。利用料金が安いと、利用料金の改定に向けて県と調整していく。
------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県と指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。（コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど） ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	142,434	143,695	147,478	151,257	指定管理者が設定し、評価（100%以上）目標にする。
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	A 評価（80%以上）を目標とする。
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	収支計画を適切に見込み、A 評価（0%以上）を目標とする。

2. 評価結果

評価項目		評価指標	R6年度実績	事業計画 （目標 値）	R7年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 （点 数）	取組改善案	令和 7 年 度 目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	123,167	143,695	129,510	105%	90.1%	【現状分析】 個人参加者は令和6年度と比べやや増加した。イベント参加者は昨年度に比べて大幅に伸びた。	B	今後も自主事業（イベント）について年間計画を立てる際は精査し、事前告知を行う。マルシェ等の多数の利用者が訪れるイベント開催等を検討する必要がある。 キャンプ場以外の予約についてもホームページ上で行えるようになれば、利用者の利便性向上につながる。	A
	P 6 転記							【課題】 団体利用者を増やすことが課題である。			

	②満足度 P.15転	満足度	99%	80%	99%	100%	123.8%	【現状分析】 利用者の満足度が高い。 【課題】 職員の人数が少なく、配置を工夫しているが、利用者アンケートに「活気がない。」という意見があった。	S	利用者の満足度は高いが「しっかり情報発信を欲しい、定期的に開催されるイベントを増やして欲しい。」等、利用者から要望があった。周知を行い、定期的にイベントを開催する。	S
財務指標	③財務状況 P18転	収益率	-2.2%	0.4%	-0.3%	12%	-63%	【現状分析】 令和4年度から連続して赤字となったものの、物価高騰に対応して管理費を増額したため、赤字幅は減少した。 【課題】 収支差を縮減するため、収入を増やす必要がある。物価高騰への対応については今後も県と調整していく。	B	事業収支が引き続き赤字となった。収益性の高いキャンプ場について、利用を推進する必要がある。利用料金が安いいため、利用料金の改定に向けて県と調整していく。	A
活動指標	④重点取組事項	アンケート回収件数	754	800	713	95%	94%	【現状分析】 利用者は増加しているが、アンケートの回収件数が令和6年度より下がった。 【課題】 利用者の目に付きやすい場所にアンケートを設置する。	A	アンケートについて、施設利用だけでなくイベント開催時においても回収に取り組んでいる。	S

総合評価	①利用状況について、利用者数がコロナ前の令和元年度の数値を超えた。 ②満足度について、令和6年度と同じく全体的に満足度が高い。 ③財務状況について、事業収支が引き続き赤字となった。 ④重点取組事項について、アンケートの回収件数が令和6年度より下がった。 各評価項目点数の合計は25点となり、総合評価はAとなった。	A
------	---	---

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S：110%以上
- A：100%以上、110%未満
- B：80%以上、100%未満
- C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S：90%以上
- A：80%以上、90%未満
- B：70%以上、80%未満
- C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A：0%以上
- B：-5%以上、0%未満
- C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S：目標を大きく上回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下